

各学校規模の現状に伴うメリット・デメリットについて

1 第4回宇陀市学校適正化推進委員会を開催しました！

令和4年8月26日（金）に市役所において、第4回宇陀市学校適正化推進委員会を開きました。今回の会議では、子どもの学ぶ視点に立って、今の各学校の子どもや学級の数から見たメリット・デメリットについて、改めて確認し合いました。その上でデメリットを克服するために、学校、地域などが今できることは何かについて話し合いました。

2 委員による報告 ～現在の学校のメリット・デメリットは？～

○子どもや学級の数が少ない学校では

- ・一人一人にきめ細やかな指導ができる。また、校外学習や体験学習など柔軟に行える。
- ・一人一人に役割や活躍の場が多く与えられ、学習活動に主体的に関わることができる。
- ・異学年交流は行いやすいが、子どもの発達段階に応じた集団活動は行いにくい。
- ・人間関係が固定化してしまいがちで、多様な考え方に触れる機会が少なくなる。
- ・登下校が少人数になり、安全面に不安がある。

○子どもや学級の数が多い学校では

- ・部活動や委員会活動などの選択肢が増える。また、グループ学習が充実する。
- ・いろいろな人間関係の中で、多くの視点からの意見や発想が生まれやすくなる。
- ・一人一人の指導にかける時間が短くなり、小さな変化などに気付きにくくなる。

○デメリットを克服するための取組は

- ・ICTなども活用して、学校同士や地域の人々との交流を盛んに行い、多様な考え方に触れる機会を増やす。
- ・地域が学校に深く関わりを持ってもらえるような体制づくりをする。



3 各委員から出された意見など

- ・デメリットを克服する取組について、現状でもできることには取り組んでほしい。
- ・人口が少なくなってきたからこそ、自分の子どもには友達を増やしてほしい。
- ・小規模校を長く残せば、将来、その維持管理費等を負担するのは今の子どもである。だからこそ、今の大人が、長期的な見通しを持って計画を立てる責任がある。
- ・少人数指導のよさは理解できるが、そのよさは子どもが1人になっても生かせるのか。保護者や地域の目線ではなく、子どもの目線になって考えることが一番大切である。
- ・室生では地域と学校が一体となって自主的に活動しており、他の地域との温度差を感じる。何もしなければ、小規模校を残すことは難しいと思う。
- ・義務教育学校や小中一貫校、小規模特認校など、現在行われている特色のある教育について学ぶ機会がほしい。

- ・現在も旧4町村にこだわる人が多いが、宇陀市は一つだという意識を持ってほしい。
- ・これからの学校に対して、地域にサポーターを求められても、高齢化が進む現状の中、今は支援できても、10年、15年後は持続可能なのかという疑問の声が上がっている。

4 当日、決定したことや話し合った内容

会議では、各委員から報告された現在の学校のメリット・デメリットについて、様々な角度から活発に意見が交わされました。学校規模のメリット・デメリットは裏表の関係にあり、指導の工夫によって改善できるという意見もありました。しかし、自分の子どもを小規模校に通わせると考えたときに、魅力を感じる声もあれば、不安を抱く声もありました。



以上のように、学校の在り方については様々な考え方がある中で、今後、さらに見直しをもって会議を進めるため、15年後までの具体的な学校の姿のたたき台を作成することについて委員長より提案がありました。

次回の会議では、①これまでの話し合いの内容を踏まえて、各委員から15年後までの具体的な学校の姿をたたき台として提案していただく。同時に、②県内外のモデル事例なども参考にしながら、現行の教育制度で実現可能なものとなるように、推進委員会として検討する予定です。

5 ご意見をお聞かせください！

これまで、学校適正化についてたくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本紙第4号についてご意見がありましたら、令和4年10月14日（金）までに下記の連絡先宛てに郵送またはメールでお寄せください。なお、ご意見は市民からのものであることを確認するため、必ず、ご住所とお名前をフルネームで明記してください。

会議の中では、お寄せいただいたご意見は匿名で取り扱わせていただきます。

郵送の場合：〒633-0292 奈良県宇陀市榛原下井足17番地の3

宇陀市教育委員会事務局 教育総務課 宛

メールの場合：soumu-tekisei@city.uda.lg.jp



※会議の詳細については右のQRコードまたは「宇陀市学校適正化」で検索して市のホームページをご覧ください、

※次回、第5回宇陀市学校適正化推進委員会は、令和4年10月28日（金）午後6時から宇陀市役所4階大会議室で行う予定です。

